

令和元年度 ガイドライン推奨 放課後等デイサービス事業所 自己評価表 まとめ  
令和元年12月 ひかり住吉

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2・第3教室や、アコーディオンカーテンやパーテーションでさらに区切れるのが良い。</li> <li>・利用者の過ごし方に合わせて、パーテーション等で区切れるようにしている。</li> <li>・スペースの死角は多少あるが、職員をバラバラに広げて配置し、どの場所も見守りが出来るようにしている。</li> <li>・利用者の状況・ニーズに合わせて、利用を引き受けている。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	2	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤換算値も充分である。</li> <li>・法令基準は満たしているが、支援上、十分かと問われると疑問である。</li> <li>・男性職員の少なさ。</li> <li>・職員の男女比と利用者の男女比がばらついてしまう。</li> <li>・男子利用者の配置に対して、男性職員の配置が適切ではない場合が止むを得ず有る。</li> <li>・もう少し人が居たらと思う。</li> </ul>
	3 事業所の設備について、バリアフリー等化の配慮が適切になされているか	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガレージや室内は段差がある。</li> <li>・ところどころ見られるが、万全とは言えない。</li> </ul>
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAにしやすい計画案とは？日々の記録方法は？と常により良い形になるように工夫している。</li> <li>・パート職員にも支援計画やモニタリング、業務の振り返りにも参加してもらい、意見を頂いている。</li> </ul>
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年末～1月間で満足度アンケート調査をしている。無記名で出せるように返信封筒もお渡している。</li> <li>・色々なご意見をまとめ全員に配り、改善につなげ、休日利用時間も改善した。</li> <li>・日々の送迎時で会話が出る。</li> <li>・アンケートは全家庭に配布するも、全部が返ってきておらず、すべて把握出来ていない。送迎時に細かくコミュニケーションをとるようにしている。</li> </ul>
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	6	1	0 (無回答1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人ホームページから過去分も含め公表している。</li> </ul>
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員は入っていない(法人の苦情解決第三者委員は居てる)</li> </ul>
適切な 支援の 提供	8 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のキャリア、スキルに応じた研修を受講している。</li> <li>・適切な人材を選び、研修に参加してもらっている。</li> <li>・確保している。また、研修に参加した職員が、所内会議等でOJTをしている。</li> </ul>
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルの計画案にアセスメントは重要なので、出来る限り色々な職員の見地も反映している。</li> </ul>
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用児童の状態、発達段階、個性障がいの差によって、療育技法も異なるため、標準化されたツールとしては、視覚支援ツールくらいである。</li> <li>・まだまだスタッフ間で考えていく必要がある。</li> <li>・視覚支援のために、絵カードやボード等に字を書いてコミュニケーションをとったり、利用者に分かりやすく説明出来るようにしている。</li> </ul>
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立案は一部の職員がしていることもある。任せきりではなく、最終確認等は全員で行っている。</li> <li>・外出企画に対して、複数人で話し合うことはあるが、チームとしては固定されていない。</li> </ul>
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パターン化に陥りやすい利用児童がいるのも事実である。</li> <li>・会議で話し合う機会を設けている。</li> <li>・一部では工夫しているが、利用者の特性や不安定に促さないためにも、固定していることもある。</li> </ul>
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所が楽しいものであるように、一人ひとりに応じた支援を心がけている。</li> <li>・個々の課題や状況に合わせて行っている。</li> <li>・夏休み等の長い休日支援は、あらかじめ1か月分の企画予定を立てている。</li> </ul>
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークの視点での個別支援計画の策定は不十分かもしれない。</li> <li>・PDCAサイクルを徹底できるようにモニタリングを取り、作成している。</li> <li>・安心して利用してもらうことを前提として、無理強いをしない企画を立てている。</li> </ul>
	15 支援開始前には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼(休日支援日)、屋礼、終礼を行っている。</li> <li>・ドライバーにも説明し、動きを確認している。</li> <li>・日々の業務量による。</li> <li>・利用者の早め送りであったり、職員の勤務時間もバラつきもあるため、細かく引継ぎを意識している。</li> </ul>
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼にて利用児童の振り返りだけではなく、送迎時の保護者の様子も細かく全職員で情報共有している。(特に要対協ケース等)</li> <li>・その日居ないスタッフにも細かく報告出来るように、引継ぎノートを活用している。</li> <li>・日々の業務量による。</li> <li>・保護者や家庭の様子など、小さな変化の気付きなども情報共有している。</li> </ul>
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録はその日のうちにつけることを徹底している。</li> <li>・モニタリングしやすいような記述に変えた。</li> <li>・支援計画に基づいて記入し、モニタリングに反映出来るようにしている。利用者のコンディションの変化で、追加の支援が必要な場合は、すぐに作成している。</li> </ul>	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「少なくとも6月に1度」の規則を厳守している。</li> </ul>	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1	0 (無回答1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動、集団活動(外出企画)、地域交流を組み合わせている。</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管に限定せず、日々の様子を詳しく知る職員が参画している。</li> <li>・指定(指名)される場合もある</li> </ul>
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っているが、一部の学校とは充分に行っていない(行えない?)所もある。教育と福祉の壁を感じる。</li> <li>・保護者の了承を得たら行っている。</li> <li>・こちらから学校に積極的にアプローチしているが、学校によって返事はまちまち。</li> </ul>
	22	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薄尿、授業について、ドクターの指示書に従い支援しているが、常時の連絡体制までは取れていない。</li> <li>・受け入れていない。授業があれば、医師の指示書や保護者からの依頼で行っている。</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全利用者には行っていない。(必要な児童とは行う)</li> <li>・必要であれば行っている。(要請あったケースもある)</li> <li>・直接に情報共有はしていない。(必要であれば、保護者から確認をしているが、出来るなら情報共有しておいた方が望ましいと思う。)</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業進路先からの依頼があれば、保護者同意を得て後、情報を提供している。</li> <li>・必要であれば行っている。(要請があったケースもある)会議にも出席している。</li> <li>・情報共有はしていない。可能なら情報共有があった方がいいと思う。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例数としては少ない</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例数としては少ない</li> <li>・個人情報の兼ね合いで、機会もなく行っていない。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加し、企画する立場でもある。</li> </ul>
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時だけでなく、電話や来所していただいた面談等、随時行っている。その記録もきちんと残している。</li> <li>・デイでの過ごし方で細かい変化などがあれば、その都度お伝えしている。逆に自宅の様子もお聞きしている。</li> </ul>
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	3	3	1 (無回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室のようなグループワークセッションは行ったことはないが、個別では療育技法等を助言したりしている。</li> <li>・時間はかかるが、まず互いの信頼関係を築くことからはじめ、ゆっくりとお子さまに対する視点や考え方を共有したり、変えていってもらったりするケースがある。</li> <li>・保護者によっては、触れられたくない問題等がある方もあり、状況を見ながら個別に対応している。</li> </ul>	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に行う。また新たな加算等生じた時もその都度行っている。</li> <li>・変更等があれば、文章でお伝えしている。</li> <li>・保護者から質問があった場合は、答えられるようにしている。</li> </ul>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時だけでなく、電話や来所していただいた面談等、随時行っている。その記録もきちんと残している。</li> <li>・面談の期間以外でも、保護者からSOSや相談があれば、すぐに対応している。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を組織していない。(保護者説明会で一同にお集まりいただくことがある)</li> <li>・個人情報の兼ね合いで行っていない。</li> <li>・他事業所の父母の会がとても興味深く、出来るなら一度やってみたい。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情(相談)対応記録を残し、再発防止策を提示している。これは出来る限り早くすることが肝だと思っている。(苦情とまではいなくても、意見も記録に残している)</li> <li>・利用者本人、保護者に不安を与えないように、速やかに対応するようにしている。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の写真集を配布、職員紹介を配布する程度である。</li> <li>・会報はないが、利用日の行事や外出予定はお知らせしている。</li> <li>・会報は発行していないが、活動の報告や様子の写真などをお渡ししている。</li> <li>・毎日の送迎、連絡帳などを通して、様子はしっかりとお伝えしている。</li> <li>・様子として、毎月の利用時のお写真を、希望する方にのみ配布している。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回のサービス児童管理官更新研修でも再三話したのあった案件なので、充分に留意するように職員間で意識している。</li> </ul>
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TEACCH、PECS等を取り入れている。(中にはタブレットを使う児童もおられる)</li> <li>・会議や日々の終礼等でパート職員にも周知する努力はしている。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所まつりみたいなものを行いたくても、広さも予算も厳しい。</li> <li>・消防や防犯研修棟に地域の人を招いたことはある。</li> <li>・同法人の別施設の行事などに参加させてもらっている。</li> </ul>
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを整備している。ただし、プリント量としては膨大なので、保護者配布まではしていない。</li> </ul>
非常時の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月一度の避難訓練、大阪880万人訓練に参加している。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府の人権擁護虐待防止研修を順番に受講してもらい、その者から伝達もしっかり行っている。</li> <li>・新人にも受けてもらっている。(伝達研修も行っている)</li> </ul>
	41	どのような場合に止むを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に充分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしても必要な児童がいれば、3要件について、基本的に医師からの指示書をいただくようになっている。</li> <li>・利用者本人、まわりの利用者が怪我をしないように配慮し、パニック等があった時は、前後の様子を含めて保護者に詳しく説明している。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を介してのアレルギーのアセスメントを徹底し、行事の時等は、事前に出来る限り情報を伝え、指示をいただいている。</li> <li>・保護者とも確認をとっている。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所内だけでなく、送迎時等、例えば送迎車運行についてもドライブレコーダーの映像もヒヤリハットで残し、事故防止に努めている。</li> <li>・毎月の会議で、法人内同グループのデイ事業所とも共有している。</li> </ul>